

一区 下の原寄席

分館長 千野 幸一

日頃、明新館に来る機会の少ない女性、年輩の方たちにも参加してもらえよう、日曜日の午後三時からと、この企画を設定しました。

本年度の分館のローガンは「三つのわ」です。全ての行事にあてはまりますが、この下の原寄席は「師匠の話をよく聞き（一つめの話）、和やかな雰囲気の中（二つめの話）、一区の輪をより強くする（三つめの話）」として、和泉屋志ん治師匠とその弟子、ピースさんを迎え開催しました。

当日は、師匠の巧みな落語に堪能し、ピースさんの型にはまらない楽しい手品に笑いこぼしました。

師匠は「笑い療法士」の肩書きを持ち、「笑いは健康維持に非常に効果がある」と言われています。

昨年度から引き続き開催し、本年度も大変好評だったため、今後是非実施するよう、引き継ぎたいと思っています。



二区 ナイトクルージング

分館長 青木 伸夫

下諏訪港棧橋改修のため、前年度は実施できなかった好評の「ナイトクルージング」を、八月十六日に行いました。



前日豪雨のため、湖上花火大会が中止されたので、当日の天候が心配されました。乗船前まで前日は荒波立ち、貸し切り竜宮丸も船体を大きく上下させながら、我々が待つ下諏訪港に向かつて進んでくれ、参加いただいた高齢の方から幼児まで、六十余名を乗せ、無事出港することができました。

下諏訪港を出港後は湖面も穏やかで、岡谷の幽玄な灯籠流しと花火から方向を転じ、上諏訪の花火へと向かい、船内では準備された生ビールやソフトドリンク、軽食等を囲んで、湖上の宴を大いに堪能し、会話を楽しみながら快い夏の夜のひとときを満喫できました。



分館活動この一年

1年間の分館活動が終わりました。文化祭やお祭りなど伝統的な行事、区民の交流と親睦を図る工夫を凝らした新しい行事や講習会など、各区の実情に合わせ、役員の方にご苦労いただき、本年度も充実した分館活動が行われました。その一端をご紹介します。

三区

凧づくり講習会

分館長 諏訪 敏和



下諏訪南小PTAと共催して、信州諏訪凧の会会長の小口峯一氏を講師に、比較的作りやすいダイヤ凧の製作を四王公会所をお借りして行いました。

下諏訪南小の親子を主として、五十名の参加を得て、和紙に動物やアニメキャラクターなど、思い思いの絵を描き、竹ひごで骨を組みながら貼り付け作業を行い、さらに新聞紙を用いて尾をつけ、糸を取り付けるまで約二時間半を要して完成をみました。

当日はあいにくの雨天で、試し揚げをすることができませんでした。児童らは残念がりながらも、自分の力で作り上げた凧を手にながら満足そうに、凧を揚げる日を楽しみにしていました。



完成した凧の大部分は、この翌週に開催された第三区分館文化祭に展示されました。

四区

利き酒会

分館長 高木 宏和

六月二日(日)、四区公会所にてムラゲチ酒店様ご協力のもと麗人酒造様を講師に迎えて利き酒会を開催しました。

日本酒の製造方法、使用原料及び精米歩合による種類・特徴の違い、おいしい飲み方や料理による選び方等講義を受け、いろいろな種類の日本酒を試飲しました。また、山形県出羽桜酒造の日本酒の飲み比べも、行いました。

おつまみも、新鮮な野菜、漬物等多数用意し好評でした。

時間の経過とともにほろ酔い気分が盛り上がり、時間が経つのを忘れて、区民の皆様が親睦を図ることができました。



日本の伝統文化を学び、意外と知らないことが多かった日本酒について、より一層理解を深める良い機会となりました。

五区

盛大だった祇園祭

分館長 長崎 隆一



津島神社祇園祭が七月十三・十四日にかけて、開催されました。

境内へと続く参道では、小学生が描いた灯籠が足下を照らすと共に、多くの方々の心にも明かりを灯し、境内へと迎えてくれました。

模擬店では、焼鳥、焼きそば、ポップコーン等のお店が軒を並べ、たくさん行列を作っていました。アトラクションでは、保育園児の踊り、小学生による長持ち、傘踊り等が披露されました。そしてマンモウ飯田さんを迎えての、トークショーも開催しました。お楽しみ抽選会では、抽選の結果に一喜一憂する姿があちこちで見られました。

翌日の本祭りは、子どもの御輿、長持ち、傘踊りが区内各所を練り歩きました。区民の交流が深まった楽しい二日間でした。



分館活動を振り返る